

多機能型事業所さくらだ 支援プログラム

作成日 令和6年11月25日

法人理念（事業所）		福祉で「笑顔」を届ける		
支援方針		方針1：基本的な生活習慣の確立 方針2：社会性の育成 方針3：個性を伸ばす 3つの方針を軸に、子どもの最善の利益を大切に療育支援を行う		
営業時間		9時 00分から 16時 30分まで	送迎時間の有無	有
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	学校や家庭と随時連携しながら心身の把握に努めます（バイタルチェック・気分把握） 生活リズムの安定 構造化を意識した活動室のレイアウト・掲示・支援 おやつ作り（クッキング）を通して、基本的な生活スキルとなる挨拶・マナー・食育を行う		
	運動・感覚	音楽リズムダンス バランスボールでの姿勢保持 クールダウン室や構造化の環境設定 制作活動でのハサミや糊や鉛筆などを用いた手指訓練 サーキットトレーニングやラジオ体操で日常生活に必要な姿勢保持や筋力維持、関節変形予防を図る		
	認知・行動	天気や日付の把握と確認による感覚・数の認知形成 絵カードや文字で活動を示すタイムテーブルによる時間の認知形成 粘土やブロックあそびによる空間認知形成 小集団でのレクリエーションでの適切な行動形成、認知の偏りの配慮 季節の変化への興味などの感性形成のための外出・行動		
	言語・コミュニケーション	始まりの会や終りの会での気持ちの言語表出と受容の支援をする 個別や集団活動での障害の特性に応じた読み書きや言語化（挨拶や気持ちのお勉強会） 絵カードや文字からの視覚化や、指差し、身振り、サイン等を用いて環境の理解と意思の伝達ができるように支援する		
	人間関係・社会性	一人遊び・並行遊び・連合的な遊びへの組み合わせや役割分担からの協同遊び、ルールやマナーなど遊びを通して理解し成長を促す機会の提供、気持ちの代弁や思いを汲みながら 異年齢での小集団の中での育ちを大切に活動、障害の特性や成長のタイミングを見極めたきめ細かなサポート支援の実施 絵本の読み聞かせや手遊びを通じて対人関係の発達を支援する		
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てサポート相談援助の実施 ・家族（きょうだいを含む）からの相談に対する適切な助言等の実施 ・障害の特性に配慮した家庭環境の整備等 	移行支援	<ul style="list-style-type: none"> ・養護学校等卒業後の関係機関への移行支援 ・ライフステージの切り替えを見据えた将来的な移行準備の援助 ・学童等と並行利用している場合における併行利用先との連携 ・地域とつながりの取組み（地域の保育所等、児童館、地域住民との交流、行事等） 	
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所、学校、医療機関等との情報連携や調整、支援方法や環境調整等に関する相談援助等の取組み及び関係機関会議等 	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所内研修・事業所外部研修への積極的参加 ・活動プログラムのチーム立案、業務改善PDCAサイクル実施 	
主な行事等	<p>年間を通して、四季を感じる療育を大切に考え、子供の成長だけでなく、記憶に残る思い出作りに取り組みます。 四季折々のイベントを取り入れたプログラムを行い、放デイに通うことが楽しく思えるような活動を実施しています。</p> <p>具体例：お花見・花苗植え・七夕・プール・夏祭り・ハロウィン・クリスマス・年末大掃除・正月・節分・ひな祭り・ミニ旅行（公共マナー実践） その他：入学進級おめでとう会・卒業を祝う会・お買物体験・外食マナー体験・お誕生会・交通安全教室・避難訓練・コミュニケーションお勉強会</p>			